

# 山崎しんのすけ通信

浜松市と静岡県を結ぶ!! 若きカジュアル政治マガジン

vol.21

2020年4月発行

## 新型コロナウイルスに負けない! 政策フル稼働を全力で



届け!在宅ケア児を救う  
緊急要望書

本格的な令和時代のスタートにあたり、大きな試練が訪れています。ご承知の新型コロナウイルスの感染拡大は未だ衰えを見せず、今まさに国難とも呼ぶべき事態の中で、国、県、市町が一致団結して機動的かつ効果的な対策を実施していくことが強く求められています。皆様におかれましては、命と健康を守る行動に努めて頂き、また同時に、率直なご意見を届けて下さいますようお願い致します。私も全力でもって、経済的にも社会的にも、新型コロナウイルスに負けぬよう尽くしてまいります!

### 英知を結集、 会派活動も積極展開

我が会派「ふじのくに県民クラブ」は、1月24日に提出した「新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた要望書」を皮切りに、4月6日時点で計6回の要望活動を県知事に対して行っています。



状況は勘案しながら、感染拡大防止対策や経済対策、学校運営の配慮、組織体制の強化にパンデミックへの備えなど多岐にわたります。既に、いくつかの項目は対応実現されていますが、今後も機を逸することなく、現場の切実な声を県政に反映できるよう努めていく所存です。

3月17日、「新型コロナウイルス対策に関する重症心身障害児(者)の生活を守る緊急要望書」を吉林副知事に手渡ししました。新型コロナウイルスが騒がれ出した頃から、市中でマスクや消毒液を手に入れることが難しくなり、それにより在宅で医療的ケアを必要とする方々に深刻な影響が開始しています。特に、日々大量に使用する消毒液の欠乏は、生死に関わる重要な問題です。そこで、県内該当者の早急な把握と、そうした医療用品の優先的な提供等を、静岡市静岡手をつなぐ育成



会や静岡県重症心身障害児(者)を守る会の代表者の方々と要望したところ、早速消毒液の配布が段階的に行われていますが実施されませんでした。ただ、予断は許されぬ状況です。引き続き、命を救う活動を行ってまいります。

### 静岡県の対策

上記のような要望に加え、3月10日に発表された国の緊急対応策(第2弾)を受けて、県では「感染拡大防止対策と医療提供体制の整備」、「中小企業者の支援」、「観光誘客対策」の3つを柱とする約24億円の補正予算を編成。さらに、休業や失業により生活資金が必要となる方に対して生活福祉資金の特例貸付を行うため、約6億円の予算を確保し、市町の社会福祉協議会での受付も開始されています。

ただ、これで十分かと言えば、そうではないと考えます。リーマンショックや東日本大震災時と比べて決定的に違うのは、人々の物理的な行動が制限されている点であり、事態は長期戦を覚悟しなければなりません。4月28日には、県議会4月臨時会を開いて緊急に補正予算を組むことになりましたが、このように国の対策と合わせ、県としてもタイムリーに行動できるよう注視していく必要があります。

※本通信の編集時から、事態が大きく変わる可能性もございますが、何卒ご容赦下さいませ。よろしくお願い致します。  
(校了日:令和2年4月13日)

## 遠州灘の防潮堤が完成!!

平成26年から本格着工が始まった浜松市沿岸域防潮堤整備事業が、この3月末をもって終結しました。新型コロナウイルスの影響で竣工報告会は延期になりましたが、全長17.5km、高さ13~15mの防潮堤の完成は、多くの地域住民の命と財産を守る頼れる砦となりました。整備にあたり、ご尽力を下さった全ての関係者に心から感謝申し上げます。ただ、最終的に災害から身

を守るためにはソフト対策が不可欠です。県では、自主防災組織の活動を支援する新たな施策も打ち出しています。より多くの方に活用され、地域防災力の強化につながることを願っています。



## 浜松まつりを 後世に繋いでいくために

東日本大震災以来となる中止に追い込まれた「浜松まつり」。初節句を迎えられるお施主さんや開催に向けて動かれていた関係者にとって大変残念な結果となりましたが、この素晴らしい伝統文化を後世に繋いでいくために、歩みを止めるわけにはいきません。

私の地元校区では、数年前から小学6年生を対象に卒業記念の凧揚げイベントを行っています。これは、校区の凧揚会の大人と一緒に、凧づくりや凧揚げといった伝統文化を体験することを通じて、郷土愛を育み、ひいては将来の担い手育成にも繋げようという取り組みで、今年から私が実行委員長となりました。こちらも新型コロナウイルスの影響で、本番の凧揚げ実施は叶いませんでしたが、ここに至るプロセスで思いは十分に届いたはず。来年以降も、様々な形で「浜松まつり」の盛り上げに貢献していきたいと思っています。



4つの  
観点について  
解説します。

# 会派を代表しての賛成討論。 来年度の川勝県政にエール!

3月18日に閉会した静岡県議会2月定例会。令和2年度全体の予算や条例を審議する重要な位置付けである今定例会のラストに、会派を代表して5つの観点から賛成討論を行いました。そのうちの1つは、表面記載の新型コロナウイルス感染症対策関連ですので、ここでは、それ以外の4つの観点について解説します。



**観点1**  
令和2年度の  
静岡県予算への評価

今回の予算規模は1兆2792億円。全体として、我が会派が昨年12月に川勝知事に提出した「令和2年度当初予算編成に対する政策提言」および「事業の廃止・見直し」に沿ったものであることが確認できています。

特に、外国人県民・児童生徒へのコミュニケーション支援や外国人介護人材確保総合対策、海外高度人材活躍支援事業など、多文化共生に関わる事業が充実強化されたことを評価しました。県内企業に人材不足の課題が顕在化する中、外国人の活躍を促進する姿勢は必要なことだと考えるからです。また、100年に一度と言われる自動車業界の大転換期の今、EV・自動運転化等に対応するための研究開発や、新技術の実証実験の支援などを行う予算が確保されたことも賛成の理由です。他にも、県立高等学校や特別支援学校へのエアコン設置、小中学校の特別支援学校級のサブチーターの配置、身近な公共工事予算の確保など、適切な予算措置がされたものと受け止めました。

**観点2**  
組織改編への評価

各事業の効果を高めるためには、組織と人事を最適化することが肝要です。今回、知事は「スポーツの聖地づくり」を軸にした布陣を敷きました。残念ながら東京2020五輪は延期となりましたが、障害

者スポーツやeスポーツも含めたスポーツ関連施策の全庁を挙げた推進に繋がることと期待されます。

ところで、スポーツという言葉の語源をご存知でしょうか？実は、ラテン語の「デポルターレ」という単語から来ていると言われていて、その意味は「遊び、楽しみ、休養」といった要素を指します。そういう点では、今定例会で示された遠州灘海浜公園篠原地区の配置計画に関する比較検討プランの中には、大型スタンドの野球場だけでなく、老若男女が憩える多目的広場、キャンプ場、ボルダリング、親水空間などのコンテンツが散りばめられていて、まさにスポーツの聖地づくりに資する計画になりそうで、ワクワクします！

その他、「水循環」を大切にしている組織強化を施したことも評価しましたが、美しく豊かな静岡の海を後世に残していくためにも、海洋プラスチックゴミの削減等にも本腰を入れるよう要望も加えたところです。



**観点3**  
副知事の実選

今回、長年にわたり県政に尽力して下さった吉林副知事の退任を受け、出野勉氏を後任とする提案がなされました。出野氏は、県庁内で要職を務められただけでなく、富士山静岡空港の代表取締役社長も経験されたことから、幅広い信頼と評価を得ています。県政発展のために、副知事としてその手腕を発揮されることを期待し、賛成いたしました。

**観点4**  
リニア中央新幹線  
南アルプストンネル工事

今定例会では、危機管理くらし環境委員会において、難波副知事とJR東海宇野副社長が参考人として招致され、様々な議論がなされました。その上で、委員会最終日には「リニア中央新幹線整備に関する決議」が全会一致で可決。これは、昨年12月に我が会派が提案したものの、自民党派等の反対で否決された決議案とほぼ同趣旨のものであり、ようやく議会一丸となったその姿勢を示すことができたことを嬉しく思います。

**しんのすけ “カジポリ動画” 放映中!!**

ここでは、紙面だけでは伝えきれない県政の出来事や山崎しんのすけが見聞してきたことを分かりやすく動画でカジュアルにレポートします。名付けて「カジポリ(カジュアルポリテックス)動画」。ぜひ、気軽に政治の世界を視聴してみてください!

**リニア中央新幹線の行方って、どうなるの??**

昨年から加熱してきた南アルプストンネル工事をめぐる議論。静岡県とJR東海の溝を埋めるべく、国交省が新たに提案する専門家会議も委員選定の段階で足踏み状態に。予定している2027年の開業に黄信号がとる中、一体この先どうなっていくのか...

気になる今後の展開は、コチラから確認!

ここでの大事なポイントは、「本県とJR東海との間で対話が尽くされること」です。2月にJR東海から水資源に影響があった場合における補償期限等に関する発言が飛び出しましたが、それはあくまでも対話が尽くされた後の話で、順序を間違っってはけません。現時点では、大井川流域8市2町や関係団体からの要望の通り、大井川の水資源等への影響を回避

することに、あらゆる関係者が全力を尽くすことが最優先のミッションであると、強調致しました。

**富国有徳の美しいふじのくにを、ふじのくにでつくる。**

令和時代も、苦難の幕開けとなりました。しかしその中でも、県民が幸せを感じられるよう、今後も川勝知事と良い緊張・強固関係の下で県政を推進してまいります。どうぞ、ご注目をお願い致します。

**Pick Up**

**インターンで政治を体感してみませんか?**

大学生の時に、議員インターンシップを経験したことが、私の政治を志した原点でした。百聞は一見に如かず。百見は一試に如かず。一緒に政治の現場で活動してみませんか?新しい発見が、きっとあなたを待っています。議員インターンに興味のある方、そうした経験をお子さんに積ませてみたい方、まずはご一報をお寄せください!

**山崎しんのすけ事務所**  
〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21  
TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982  
<http://www.shin-sk.net/>

山崎しんのすけ 検索 ▲オフィシャルサイトはこちら

**SNSでも最新情報を公開中!! ぜひフォローをお願いします!!**

facebook twitter instagram

**山崎真之輔 プロフィール**

- 38歳三児の父親
- 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- 浜松市議会議員(2期6年間) ■静岡県議会議員(3期目)
- 所属党派:ふじのくに県民クラブ
- 所属委員会:産業委員会 副委員長  
子ども健全育成推進特別委員会
- 役職:静岡県eスポーツ連合 専務理事  
浜松市立東部中学校同窓会 会長  
公益社団法人浜松青年会議所 副理事長  
浜松市空手道連盟 顧問
- 趣味/スポーツ全般、日本舞踊(花柳流) 読書、カラオケ、ボードゲーム eスポーツ